

2024 年 11 月 7 日

初代レガシィ「2024 日本自動車殿堂 歴史遺産車」に選定

SUBARU の初代「レガシィ」が、「2024 日本自動車殿堂 歴史遺産車^{*1}」に選定されました。SUBARU 車が「日本自動車殿堂 歴史遺産車」に選定されたのは、2004 年の「スバル 360」、2017 年の「スバル 1000」に続いて、今回が 3 回目になります。表彰式は、2024 年 11 月 13 日(水)に、学士会館(東京都千代田区)にて行われます。



初代レガシィ ツーリングワゴン(1989 年)



日本自動車殿堂 歴史遺産車

今回、「2024 日本自動車殿堂 歴史遺産車」の選定にあたり、「日本に本格的なステーションワゴンの市場を確立した」、「水平対向エンジン、シンメトリカル AWD などの基幹技術、デザインなどその後の SUBARU 車に生かされている源流を生み出した」ことが評価されました。

レガシィは、「質の高いドライビングが味わえるドライバーズカー」を目指して、エンジン、車体をゼロベースで開発。SUBARU が継承する「走りを楽しめれば安全になる」という信念のもと、1989 年の発売以来、その時代のニーズに合わせて改良を加え、進化し続けてきました。そして、国や文化、世代を超えた多くのお客さまに支持され、これまでの歴代モデル世界累計生産台数は 740 万台を超えています^{*2}。

また、2003 年に発表した 4 代目レガシィは、「2003-2004 日本カー・オブ・ザ・イヤー」を受賞。そして、自動車の安全性能を比較評価する自動車アセスメント(JNCAP^{*3})において、最新モデルの「レガシィ アウトバック」が「自動車安全性能 2021 ファイブスター^{*4} 大賞^{*5}」を受賞するなど、高い評価を獲得してきました。

*1: 日本の自動車の歴史に優れた足跡を残した車を永く伝承するため、日本自動車殿堂に登録された名車。

*2: 2024 年 10 月末時点。

*3: Japan New Car Assessment Program の略称。国土交通省と独立行政法人 自動車事故対策機構(NASVA)が実施。

*4: 衝突安全性能及び予防安全性能の評価が A ランク且つ事故自動緊急通報装置を備えていること。

*5: ファイブスター賞の対象車種のうち評価年度内での最高得点の車種に与えられる賞。

<特定非営利法人 日本自動車殿堂>

<https://www.jahfa.jp/>